

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 中学校第 2 学年

【単元名】 14 歳の自分探し ～職場体験を通してのぞく自分自身～（14 時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔思考力, 判断力, 表現力等〕	〔学びに向かう力, 人間性等〕
<ul style="list-style-type: none"> ・職場の人からの評価を自己の在り方に反映させ自分の姿に気付いている。 ・体験を自分なりに分析し, 友の力もかりながら自分の可能性やよさに気付いている。 	<p>級友との語らいから, 職場体験学習に臨む級友の願いや体験時の取り組みのよさを感じ, 自分の体験と重ね合わせながら共感している。</p>

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：職場体験学習を行い, 体験直後には, 理想と現実の乖離や人間関係にまつわるエピソードを語り合った。

働かせる見方・考え方：自分のよさや可能性を多面的に見つめること。

階	学習活動（時間）	留意点
対象と出会い課題をもち	<p style="text-align: center;">問い：自分にはどんなよさや特徴があるのだろうか。</p> <p>1 体験した職場の方からの評価を読む（1）</p> <p>2 職場体験学習プレゼン用ポスターを作る（4）</p>	<p style="text-align: center;">課題の設定</p> <p>☞職場の方が自分の様子についてどんな評価をしているのか予想させてから実際の評価を読み, 今の自分の考えを書き出す場を設ける。</p>
繰り返し対象へ働きかけ	<p>3 作成したポスターを発表し合う（2）</p> <p>4 職場体験学習を通して見えてきた自分自身の特徴について考える（4）</p>	<p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>☞友の発表を聞き合い, 共感したことや発見した友の新しい一面などを伝え合い, 自分や友の頑張りやよさなどに目を向けるよう促す。</p> <p style="text-align: center;">整理・分析</p> <p>☞自分のポスターを見直し, 自分自身の特徴を捉え直す場を設ける。</p> <p>☞自分の特徴を語る生徒に, なぜそう思うのか具体的な職場体験中についてのエピソードを引き出し共感的に聞く。</p>
自分の考えをまとめる	<p>5 自分のよさや可能性を生かしながら今後の自分の生活をどう送ったらよいか考える（3）</p>	<p style="text-align: center;">まとめ・表現</p> <p>☞自分たちはどうして学校で学習に励んだり地道に頑張ったりしているのか, 今の考えをまとめる中で, 自己有用感の高まりを感じる姿に共感する。</p>

次単元へのつながり：これまでの職場体験学習を振り返ることを通して, 学ぶことや生きることについて, 自分の考えがこの一年間でどのように深まってきたかを追究していく。